

## みんなが来るのが楽しみな学校

長い夏休みの間、皆さんのいない学校は静かだけれど、理科室のコオロギの鳴く声や、教室の水槽の水の音が聞こえるくらいで、ちょっとさみしい学校でしたが、今日ひさしぶりに皆さんの元気な声が戻ってきました。さあ、2学期最初の挨拶です。

「桃五のみなさん、おかえりなさい。」 「……………」

「あれれ。みなさんおかえりなさいああああい。」 「ただいまああ。」

「これで元の桃五小にもどりました。みんなも、元気が出ましたね。」

「では、お早うございます。」 『おはようございまあす。』

さて、1学期の終業式に皆さんに出した校長先生からの宿題。覚えていますか。

そう、2学期の始業式9月1日に全員が元気にまた学校にそろって、みんなで挨拶すること。今日、転入してきた新しいお友達も入れてみんなで挨拶できました。そして、転校していった桃五のお友達も、きっと新しい学校で元気に挨拶をしていることです。みんな宿題合格です。

さて、今日は、「みんなが、来るのが、楽しみな、学校」というお話をします。

今日は始業式。朝みなさんを外でむかえていると、どの子もちょっと久しぶりで、まだ眠かったり、もう少し夏休みが続いてほしかったり、不機嫌だったり、いろいろな顔で、でも久しぶりの学校だぞ……やったあ、という様子も、見えます。ですから、ふだんの登校の様子とはちょっと違います。でもそれは、校長先生も一緒に、まだ夏休みを引きずって「もうちょっと休みたいよ……」という気分もまだ残っているのです。

ところが、みんなをむかえて挨拶していると、笑顔が返ってきたり、大きな返事が返ってきたり、今日も低学年のお友達が、気をつけの姿勢で「2学期もまたよろしくお願いしまあす。」と言ってくれたりして、とてもうれしい気持ちになってくるのです。

こうして、たくさんの桃五の子どもの優しい気持ちが伝わってくると、「うれしいな、うれしいな、うれしいな。」と、私も学校に来るのが、また楽しみになってくるのです。

いつも言っていますが、桃五の皆さんにも今朝の校長先生のように、2学期も全部の人が「元気に、なかよく、楽しく」すごせるように、「学校に来るのが楽しみに」、なってほしいのです。

自分だけでなく、桃五小の全部の人が「元気に（心も体も元気に）、なかよく（少しずつの我慢を出し合って人を大切に）、楽しく（できないことをできるようにする自分のやりたいことを見つける）」、学校に来るのが楽しみな毎日をすすすしてほしいのです。

これは、校長先生だけの力では実現できません。先生たちだけの力でもやっぱり難しい。そう、ここにいる1年生2年生3年生も4年生も5年生も6年生も、桃五のすべての皆さんの応援が必要なのです。

そのためには、三つの約束が大切だというお話を前にしました。覚えていますか。

ひとつは、みんなが元気にすごすために「あぶないことはしない。」

ふたつめは、みんなが仲良くすごすために「人のいやがることはしない。」

みつめは、みんなが楽しくすごすために「やくそく（ルール）は守る。」です。

これをもっとかんたんに言うと「自分のことも、人のことも大切にする」ということなのだと思えます。

新しく桃五の仲間になった人も入れてここにいる全員が自分のことも、自分以外の人のことでも大切に思いやりをもって助けあっていけると、全員が「元気に・なかよく・楽しく」すごすことができます。

2学期もこの気持ちで、よろしくお願いしまあす。 「よろしくお願いしまあす。」（という返事で2学期が始まりました。）

